

そらぐみだより

認定こども園 草花幼稚園
2024. 9. 30

9月に入ったもののまだまだ夏のよう暑い日が続いています。1年の半分が過ぎ、あっという間に9月になりました。セミの鳴き声もいつしか聞こえなくなり秋の訪れが近いようです。夏の遊びを満喫したそらぐみさんは、ひと回り大きく、たくましくなりましたように感じます。特に最近はお話が、さらに上手になり、休みの日の出来事を詳しく話してくれたり、子ども同士でもおしゃべりをする姿が見られます。もちろん気持ちの行き違もあるのですがトラブルになる時もありますが保育者が仲介しながら気持ちを伝え合うことの大切さを伝えていきたいと思っております。

畑では秋冬野菜の種を植えお世話を楽しんでいこうと計画しています。そらぐみでは... にんじん かぼ 二十日大根 (ラディッシュ) を植えます。そんな子どもたちにこの絵本はぜひ...

やさいさん、やさいさんだあれの後に続くつっぱんに子どもたちは大喜び。ダイナミックな動きを味わえるので思わず釘付けになります。野菜の名前や葉っぱを覚えることもできます。野菜の表情がみんな違ったり... じんわり面白い絵本です。

タイトル やさいさん 作・絵 tupera tupera (ツペラ ツペラ)



おしりマットを自分の
私ツカエのころ入
片付けてくれました

おしりマットを
カゴに入れてくれる
お手伝い



お手伝い

生きていくための力となる自己肯定感。「自分は必要とされている」と感じ、自分自身を認めることができる感情です。自己肯定感を高めるためには無条件に愛され自分は必要とされていると感じられる経験を積む必要があります。そのためには子どもに対して「ありがとう」という場面を多く作ることがポイントです。ほめることも大切ですが、おれを言われるという経験は子どもにとって「認められた」と感じられる瞬間です。子どもに「ありがとう」を伝えるために最適なものはお手伝いです。子どもの自己肯定感を高めるためには子どものそのまの姿を受け入れることも大切。お手伝いに失敗したって何の問題もないのです。上手にできたことではなく、一生懸命お手伝いをしてくれたこと、自分自身で気付いて手伝ってくれたことに感謝をして「ありがとう」の言葉を伝えてあげることが大切。「ありがとう」とたくさん言われた経験のある子は人にも感謝の気持ちを伝えられる人に育ちます。自分を認め、他人も認めることができる育ちをサポートするために、お手伝いは最適です。



リコーダー
見本をおね
完成させる
こともできる
めにたよ
り。



リコー
中に軸を
通しクルクル
回し遊んで
います。
自分でできる
めにたよ



砂場遊びでは4月より道具を使わず自分の手で砂の感触を感じてほしい。知ってほしいという思いがあり楽しんでできました。十分に楽しめるようになったので9月になりタイムスを見て砂場のおもちゃを出して遊んでい



バケツの中に砂を入れて
ケキを作ろうと頑張る
ちゃん



水を流してみよう
思いがけず、シャワーで
流してみよう。
みんな注目!!



どれにしよかな...



スコップで一生懸命
穴を掘って
い くん くん

カを合せてお山を
作り、トネを作ら
した。



お山を元の場所へ片付け
てあげよう。



フタマンをかいてよ〜



これは虫工だよ



線路をつなげて列車を走らせて
あげよう。



きれいに積むと高くなるよ



するする〜
取りおろすことが
できます。



病院だよ。どこか痛いのよは
ありますか？



下をのぞくとお山が...

忍耐力の
そりり
そりり



芝生に
寝転がると
気持ち
いいな

